

2016年6月吉日

地域農林経済学会 会員各位

地域農林経済学会近畿支部代表  
神戸大学 石田 章

## 2016 年度地域農林経済学会近畿支部大会のご案内

拝啓 初夏の候ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の要領で、2016 年度地域農林経済学会近畿支部大会を開催いたします。今年度は、恒例の若手研究者による個別報告に加えて、新たな試みとして共通セッション「若手研究者からみた大学の地域連携—研究と地域連携との両立・節合を目指して—」をランチセミナーとして開催いたします（昼食は各自でご持参ください）。会員の皆様には、若手研究者の育成という観点からも積極的なご参加をお願い申し上げます。本支部大会は、非会員の方にも開放しておりますので、お誘いあわせてご来場下さい。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

敬具

### 記

日 時：2016 年 7 月 23 日（土）12：00～17：00（開場は 11：30～）

\*昼食は各自でご持参ください

場 所：神戸大学農学部 B 棟 101 号室（神戸市灘区六甲台町 1-1）

\*市バス 36 系統鶴甲団地行神大文理農学部前下車，徒歩 3 分

<http://www.ans.kobe-u.ac.jp/nougakubu/access.html>

参加費：無料（懇親会費は別途）

問合せ先：神戸大学農学研究科 石田章

TEL/FAX: 078-803-5844

E-mail: akira\_ishida@people.kobe-u.ac.jp（@は半角に修正して下さい）

会場設営の関係で、お手数ですが、参加ご希望の方は、7/15（金）午後5時までに上記問合せ先までご連絡下さい。その際、懇親会への参加につきましてもお知らせ下さい。

以上

## 【2016 年度地域農林経済学会近畿支部大会プログラム】

11 : 30～ 開場, 受付

12 : 00～12 : 10 開会の挨拶 (増田 佳昭 会長)

**【共通セッション】** 若手研究者からみた大学の地域連携  
—研究と地域連携との両立・節合を目指して—

12 : 10～12 : 15 セッション開会の挨拶・趣旨説明 (本田 恭子, 岡山大学)

12 : 15～12 : 35 地域連携プログラムは若手を鍛える「登龍門」～3大学でのポストク経験を中心に～  
報告者 : 富吉 満之 (久留米大学)

12 : 35～12 : 55 ふくしま未来食・農教育プログラムでの3年間を振り返って  
報告者 : 則藤 孝志 (福島大学)

12 : 55～13 : 05 休憩

13 : 05～13 : 35 議論

13 : 35～13 : 40 セッション閉会の挨拶 (川崎 訓昭, 京都大学)

13 : 40～14 : 00 休憩

**【個別報告】** ※研究報告は, 報告 25 分・質疑 15 分

14 : 00～14 : 40 Constraints of Farm Size Enlargement in Rice Sector of Central Java: A Case Study  
報告者 : Ernoiz Antriandarti (Graduate School of Agriculture, Kyoto University)  
座長 : 多田 稔 (近畿大学)

14 : 40～15 : 20 滋賀県の集落における環境保全型農業実施の要因分析  
—農地・水・環境保全向上対策の営農活動支援を対象に—  
報告者 : 中島 彬 (京都大学大学院農学研究科)  
座長 : 中塚 雅也 (神戸大学)

15 : 20～15 : 30 休憩

15：30～16：10 酒造好適米産地の維持・発展要因と課題

—兵庫みらい農協を事例として—

報告者：鈴木 淳（神戸大学大学院農学研究科）

座 長：浦出 俊和（大阪府立大学）

16：10～16：50 農地・水・環境保全向上対策の政策効果

—滋賀県「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」を対象として—

報告者：小宮山 碧（京都大学大学院農学研究科）

座 長：増田 清敬（滋賀県立大学）

16：50～17：00 閉会の挨拶（金子 治平 副会長）

終了後

懇親会（希望者） ふるってご参加ください。

場所：未定

会費：3,500円（学生は2,500円）、学生報告者は無料

参加人数把握のため、参加ご希望の方は、7/15（金）午後5時までに  
近畿支部大会事務局（別紙問合せ先参照）までご連絡下さい。